

|        |   |  |                        |  |
|--------|---|--|------------------------|--|
| 施設名称   | 河内長野市立障がい者福祉センター あかみね   |  |                        |  |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会   |  |                        |  |
| 指定期間   | 平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月 ( 4 年目 )   |  |                        |  |
| 運営状況   | 開館日数  | 280日                                   |                        |  |
|        | 開館時間  | 午前9時～午後5まで                             |                        |  |
|        | 管理上の特記事項  | 条例(研修室などの使用の特例)の規程に応じて、開館時間以外の対応しています。 |                        |  |
| 利用実績   | 利用者数  | 18,002名(障がい者 11,503名 ・ その他 6,499名)     |                        |  |
|        | 利用団体数   | 利用者登録:508名 利用団体数:51団体                  |                        |  |
|        | 主な行事及び参加人数  | A                                      | 各行事及び参加人数 別紙 利用者数総計 参照 |  |
|        |   | B                                      |                        |  |
| C      |   |  |                        |  |
| 稼働率    | 平日  | 77.6%                                  | 算出方法 貸室の利用率を算出         |  |
|        | 土日  | 44.0%                                  | 算出方法 貸室の利用率を算出         |  |
|        | 平均  | 60.8%                                  | 算出方法 貸室の利用率を算出         |  |
|        | <p>[デイサービス事業]</p> <p>デイサービス事業(クラブ・教室など)については、当事者およびボランティアで自主運営できるものは自主的に活動できるように促しながら、見守り体制の強化・自立を図り、貸室対応での事業展開を拡大することができました。さらに、利用者の健康の維持・増進を図りながら、利用者間の人間関係がよりスムーズになるよう促し、みんなで助け合い、支え合うしくみづくりや利用困難になったケースも状況に応じた支援ができるよう相談支援事業所など関係機関と連携を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○障がい者や家族などの自助グループの活動を支援しました。</li> <li>○ボランティアコーディネーターを設置し、個々の障がい者の支援やそのボランティアが地域の支援者として、活躍できる場を積極的に提供しました。</li> <li>○福祉教育の支援強化(小学校の総合学習、中学校の職場体験、各種大学・専門学校などの実習生の受け入れ、学校教員研修などの受け入れ)を積極的に行いました。さらに、高等学校へ当事者と訪問し、ポッチャおよび講話を通じて障がいに対する理解を深め、交流を図りました。</li> <li>○障がい児支援の充実を図るとともに、週末事業も継続的に実施しました。</li> <li>○週末の事業のあり方やサービス内容の検討を行い、日頃のメニューでは利用できない利用者のニーズに応じた対応を行うことで、何か悩みごとなどがあれば、気軽に立ち寄れる施設をめざしました。</li> </ul> |  |                        |  |

|                           |   |
|---------------------------|---|
| <p>自主事業の実施内容及び状況</p>      | <p>[生活介護事業]<br/>         重度心身障がい者(医療的ケアを含む)への受け入れ体制の充実を図りました。<br/>         ○強度行動障がい者への受け入れ体制の充実を図りました。<br/>         ○共生型通所介護を開所し、高齢化する障がい者の受入れ体制を整備しました。</p> <p>[全 体]<br/>         指定福祉避難所としての役割や障がい者および支援者の方々が日頃の備えや災害に対する認識を高めるために今年で4回目となる、あかみね「防災・避難訓練」を市危機管理課と協賛で実施するとともに、市障がい福祉課と協議を行い、指定避難所設置運営マニュアル策定に向けた準備や必要な物資・機材の調整などを行いました。また、次年度より指定福祉避難所マニュアルに沿った訓練を実施します。(参加者：38人：障がい者福祉関係団体も含む、利用者および支援者)[毎年実施]<br/>         今年で14年目となる、障がい者福祉関係団体と協賛している「さぁ、秋だ！“みんなおいでや”」を開催し、市民への障がい理解の促進と障がい者の方が地域社会で自由な交流ができるよう事業を展開し、障がい者福祉関係団体が協同で活動できる場を充実させました。(参加者：388人)<br/>         あかみねウィンターフェスティバル(利用者の発表の場・市民啓発)を開催しました。(参加者：110人)<br/>         当法人が地域で組織化をすすめてきた地区(校区)福祉委員会および民生委員児童委員協議会と交流を深め、地域で当事者の方々の課題解決や緊急時の支援を含め、総合的な支援体制の充実を図りました。<br/>         ○施設利用が困難になってきた高齢化する障がい者などが心豊かにいきいきと活動できる体制の検討を行い、次年度の事業展開に向けて準備を行いました。</p> |
| <p>アンケートなど意見聴収状況及び対応</p>  | <p>アンケートの実施と集計結果の開示 (別紙 アンケート集計 参照)</p>   |
| <p>苦情又は事故の発生状況とその対応結果</p> | <p>○苦情に関しては、特にありませんでした。<br/>         ○事故に関しては、特にありませんでした。</p>   |
| <p>修繕、滅失の状況とその対応結果</p>    | <p>○定期点検を行った結果、2階車いす用トイレの自動扉開閉装置の修理が必要となり、修理しました。(平成31年4月)<br/>         水道料金が高騰し、調査の結果1階シャワー室の配管内の水漏れ、修繕を行いました。(令和元年7月)<br/>         本館 正面外部自動扉の駆動部内のモーターが経年劣化により、修理を行いました。(令和元年9月)<br/>         上記以外の修繕および滅失の問題は、特にありませんでした。引き続き、老朽化する施設や設備を市と協議の上、計画的に管理を進め、随時修繕箇所を確認・修理し、利用者により良い環境下で安心して利用していただける場を提供します。</p> <p>[修繕・取り替えの必要性がある箇所]<br/>         あかみね分館エレベーター機能維持の修理依頼がありました。(令和元年5月)<br/>         電気設備点検を行った結果、高圧負荷開閉器の絶縁部分の絶縁抵抗値が低下しています。取り替えの必要性が昨年と同様にあります。(令和元年10月)<br/>         本館におけるエレベーター部品交換の依頼がありました。(令和2年3月)</p>  |
| <p>その他</p>                | <p>○サービス向上を図るために各事業に対して、アンケートを実施しました。また、利用者の声などを聞くなどしてニーズの把握や内容の改善を図り結果の公表なども行い、課題解決においては、河内長野市立障がい者福祉センターあかみね運営委員会(令和元年6月25日)を開催し、各委員からの意見を反映するなど、サービス向上に努め、すべての利用者が安心して活動できる場を提供しました。<br/>         ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月3日よりデイサービスおよび貸室の事業を休止しました。</p>  |